

やめてほしい中学校 部活動の強制

嵐山町の中学校は、クラブ活動の時間を授業に振り替え、クラブ活動を生徒会活動として放課後行っています。

本来ならば週1時間でよいクラブ活動が、生徒会活動であるため毎日、放課後の部活動、朝練、日曜練習と、強制的に行われます。学校の教師のみで指導するため、部の数も少なく、部活で子どもの自主性が育つとは思えません。

部活と受験で、中学生は、学校に囲われています。

部活動を、本来の週1時間のクラブ活動に戻し、放課後は生涯学習として、社会教育の場で、地域の人とふれあいながら、子どもの多様な価値を育てていくべきでは。

学校だけが教育の場ではありません。

いじめがないって本当ですか

問 学校のいじめの状況は。

答 自分より弱い者を一方的に身体的、心理的攻撃を継続的に加え相手が深刻な苦痛を感じるものをいじめという。各学校とも、いじめの報告はない。



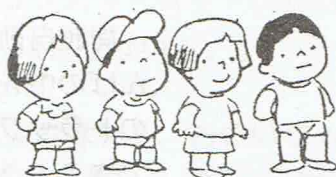
私は、あちこちでいじめの話聞いています。子どもがいじめられているのわかるのは、相当深刻な状況になっているのを、親が察知してからです。

教師は気付かないのか、学校が隠しているのか。いじめがあっても、学校が「いじめ」と認めないのでは、いじめられる子どもは立つ瀬がない。

子育ての 仲間づくりは

0才から3才くらいまでの子どもをもつお母さんが、仲間づくりができる常設のスペースはどんな形が理想ですか。

母親1人で子育てするのは息苦しい。友達とコーヒーを飲んだりしてほっと一息つけて、肩肘張らずに、子育てのできる場がほしいですね。



もちろん、子育ての相談にのってもらえる場や、児童館も必要です。町が地域に民家をかりて、高齢者や、小さい子がふれあえるような場を設定していくことも必要です。